

# PayPay投信 米国株式 ボラティリティ戦略 (為替ヘッジなし)

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2030年10月25日までとします。ただし、元本金額が10億円を下回った場合などはファンドを終了（繰上償還）させる場合があります。
運用方針	この投資信託は、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行いません。
主要運用対象	主として、投資信託証券（金融商品取引法第2条第1項第10号に規定する投資信託及び外国投資信託の受益証券並びに同項第11号に規定する投資証券及び外国投資証券をいいます。）に投資を行いません。
組入制限	①投資信託証券への投資割合には制限を設けません。 ②株式への直接投資は行いません。 ③外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ④デリバティブの直接利用は行いません。
分配方針	①毎決算期に収益の分配を行なう方針です。ただし、基準価額の水準や市場動向等を勘案して収益の分配を行わない場合もあります。 ②分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等とします。 ③信託財産に留保した収益の運用については、特に制限を設けず、「基本方針」および「運用方法」に基づき元本と同一の運用を行いません。

## 《お知らせ》

当ファンドは、投資信託約款第42条の規定に基づき償還となったため、第4計算期間は2024年3月27日までとなっております。

## 運用報告書（全体版）

### 繰上償還

（2024年3月27日償還）

## 受益者のみなさまへ

平素は「PayPay投信 米国株式ボラティリティ戦略（為替ヘッジなし）」にご投資いただき、厚くお礼申し上げます。

さて、当ファンドは、このたび繰上償還となりましたので、ここに運用状況等につきまして、ご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

## PayPayアセットマネジメント株式会社

東京都千代田区神田錦町一丁目1番地

### サポートダイヤル

0120-580446

（受付時間）営業日の午前9時～午後5時

<https://www.paypay-am.co.jp>

## ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額			投資信託証券 (親投資信託 を除く)比率	純資産額 総
	(分配落)	収益分配金 (課税前)	期中騰落率		
(設定日) 2020年10月29日	円 10,000	円 —	% —	% —	百万円 42
1期(2021年10月25日)	12,292	0	22.9	97.6	509
2期(2022年10月25日)	12,775	0	3.9	98.0	555
3期(2023年10月25日)	12,493	0	△2.2	96.9	404
(償還時) 4期(2024年3月27日)	(償還価額) 14,299.00	0	14.5	—	203

\*基準価額の騰落率は収益分配金(課税前)込み。

\*設定日の基準価額は当初設定時の価額です。また、設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を記載しています。

\*当ファンドは、特定の指数を上回るまたは運動することを運用の基本方針とはしていないため、該当するベンチマーク等はありません。

## ■当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		投資信託証券 (親投資信託 を除く)比率
		騰落率	
(期首) 2023年10月25日	円 12,493	% —	% 96.9
10月末	12,243	△2.0	96.9
11月末	12,894	3.2	97.2
12月末	12,938	3.6	74.0
2024年1月末	13,749	10.1	94.9
2月末	14,216	13.8	97.3
(償還時) 2024年3月27日	(償還価額) 14,299.00	14.5	—

\*期末基準価額は収益分配金(課税前)込み。騰落率は期首比。

## ■設定以来の運用実績

### 〈基準価額の動き〉

当ファンドの償還価額は、14,299円00銭となり、設定日との比較では43.0%の上昇となりました。

### 〈基準価額の主な変動要因〉

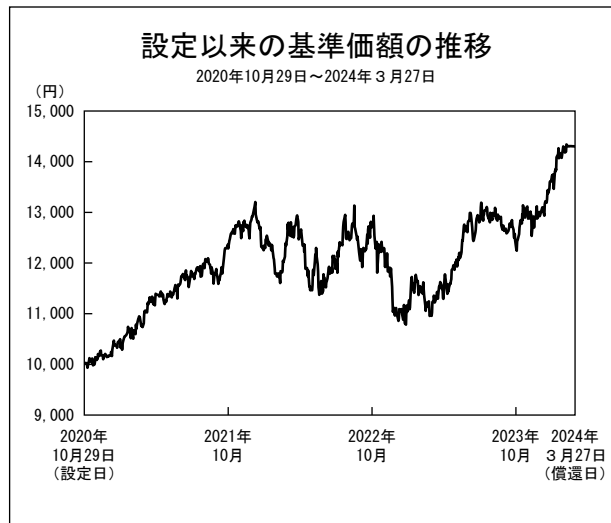
信託期間中の米国株式市場は堅調に推移し、VIX先物市場は軟調に推移しました。主に米国株式市場の上昇局面におけるVIX先物取引はマイナス要因となったものの、米国株式市場が上昇したことや為替相場が円安ドル高となったことは基準価額にプラスに寄与しました。

### 〈収益分配金〉

収益分配金（1万口当たり、課税前、以下同じ）については、基準価額の水準や分配原資の積み上がり状況等を勘案し、設定来分配を見送らせていただきました。

### 〈市況〉

信託期間中の米国株式市場は上昇しました。2020年春のコロナショック後の経済活動の正常化や金融緩和策への期待感などから米国株式市場は当ファンドの設定日以降、2021年を通じて上昇しました。ロシアによるウクライナ侵攻や世界的なインフレ懸念の高まり、また、それらを背景とした世界的な金融引締めなどを受けて米国株式市場は2022年後半にかけて下落したものの、その後は、インフレ懸念の後退や金融引締めペースの鈍化に加えて、堅調な企業業績やマクロ経済指標を背景とした米国景気の軟着陸（ソフトランディング）期待が広がったことなどから再び上昇に転じました。信託期間中のVIX先物市場は米国株式市場の上昇を背景に軟調に推移し、為替相場は日米金利差の拡大などを背景に円安ドル高が進みました。



## ■設定以来の運用経過

当ファンドは、米国の株価指数先物取引とVIX先物取引を活用する投資信託証券への投資を通じて、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行なっております。

米国の株価指数先物取引とVIX先物取引を活用する投資信託証券（アイルランド籍の外国投資証券である「ABRダイナミックブレンド・エクイティ&ボラティリティファンド」をいいます。）の組入比率は、信託期間を通じて概ね90%台で推移させました。ABRダイナミックブレンド・エクイティ&ボラティリティファンドにおいては、米国の株価指数先物取引とVIX先物取引を活用し、収益の獲得を図りました。また、余剰資金については、わが国の短期公社債を主要投資対象とする投資信託証券（親投資信託である「国内短期債券マザーファンド」をいいます。）への投資を通じて、実質的にわが国の短期公社債に投資を行ないました。

受益者の皆様におかれましては、当ファンドにご愛顧賜り厚く御礼申し上げます。今後とも投資信託の運用につきましては、投資家の皆様のご期待に添えますよう万全を期して努力してまいりますので、より一層のご愛顧を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

## ■ 1 万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	(2023. 10. 26~2024. 3. 27)		
	金 額	比 率	
信託報酬	34円	0.255%	信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率。期中の平均基準価額（月末値の平均値）は13,208円です。
（投信会社）	(16)	(0.120)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(16)	(0.120)	交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(2)	(0.014)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
その他費用	25	0.191	その他費用＝期中のその他費用／期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.017)	海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（法定開示に係る費用）	(23)	(0.175)	印刷会社等に支払う目論見書、運用報告書等の作成、印刷、交付等に係る費用
合 計	59	0.446	

\* 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、当ファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

\* 各項目の費用は、当ファンドが組入れている投資信託証券(マザーファンドを除く)が支払った費用を含みません。

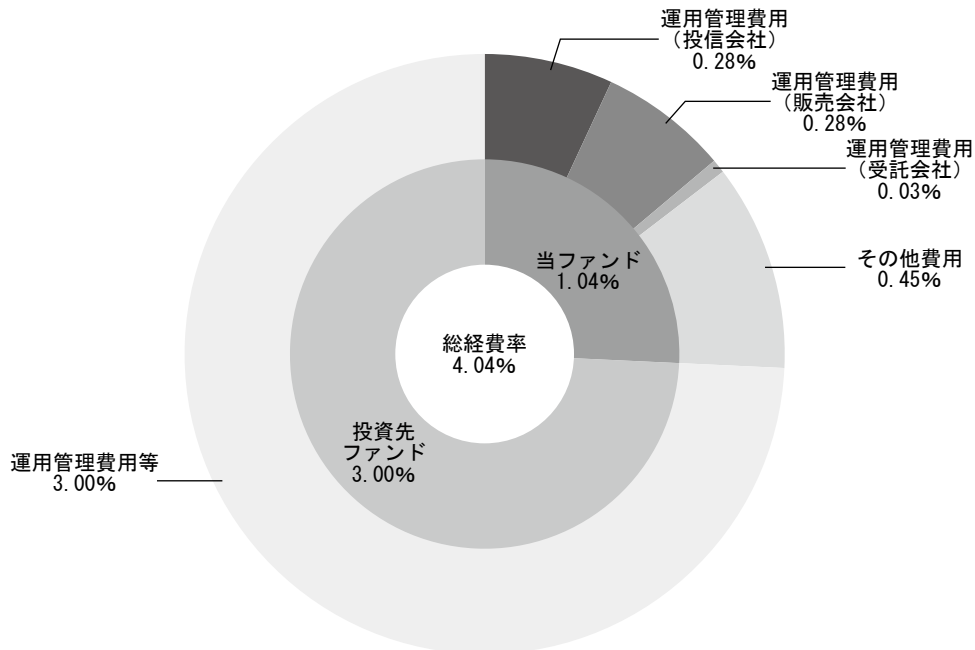
\* 「金額」欄は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

\* 「比率」欄は1万口当たりのそれぞれの費用金額を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

## (参考情報)

## ■ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は4.04%です。



総経費率 (①+②)	(%)	4.04
①当ファンドの費用の比率	(%)	1.04
②投資先ファンドの運用管理費用等の比率	(%)	3.00

\*①の費用は、1万口当たりの費用の明細において用いた簡便法により算出したものです。

\*各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

\*各比率は、年率換算した値です。

\*投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）です。

\*①の費用は、マザーファンドが支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。

\*①の費用と②の費用は、計上された期間が異なります。

\*②の費用は、運用管理費用および運用管理費用以外の合計です。

\*上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## ■ 売買及び取引の状況 (2023年10月26日から2024年3月27日まで)

### (1) 投資信託証券

	買 付		売 付	
	口 数	金 額	口 数	金 額
外国	口	千米ドル	口	千米ドル
(アメリカ) ABRダイナミックブレンド・エクイティ& ボラティリティファンド	5,913	600	34,305	3,564

\*金額は受渡し代金。

\*単位未満は切捨て。

\*-印は該当なし。

### (2) 親投資信託受益証券の設定、解約状況

	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
国内短期債券マザーファンド	千口 -	千円 -	千口 50	千円 49

\*単位未満は切捨て。

\*-印は該当なし。

## ■ 利害関係人との取引状況 (自2023年10月26日 至2024年3月27日)

### 〈PayPay投信 米国株式ボラティリティ戦略(為替ヘッジなし)〉

期中における利害関係人との取引はありません。

### 〈国内短期債券マザーファンド〉

期中における利害関係人との取引はありません。

\*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

## ■ 組入資産の明細 (2024年3月27日現在)

有価証券等の残高はありません。

### ● 親投資信託残高

項 目	期 首 (前 期 末)	
	口 数	評 価 額
国内短期債券マザーファンド	千口 50	千円 49

\*単位未満は切捨て。

## ■投資信託財産の構成 (2024年3月27日現在)

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	207,451	100.0
投 資 信 託 財 産 総 額	207,451	100.0

\*評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年3月27日)現在

項 目	償 還 時	円
(A)資 産	207,451,218	
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	207,450,933	
未 収 利 息	285	
(B)負 債	4,246,434	
未 払 解 約 金	2,715,257	
未 払 信 託 報 酬	886,474	
そ の 他 未 払 費 用	644,703	
(C)純 資 産 総 額 ( A - B )	203,204,784	
元 本	142,111,197	
償 還 差 益 金	61,093,587	
(D)受 益 権 総 口 数	142,111,197口	
1 万 口 当 たり 償 還 価 額 ( C / D )	14,299円	

## ■損益の状況

(自2023年10月26日 至2024年3月27日)

項 目	当 期	円
(A)配 当 等 収 益	86,715	
受 取 利 息	89,978	
支 払 利 息	△3,263	
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	26,788,134	
売 買 益	41,774,459	
売 買 損	△14,986,325	
(C)信 託 報 酬 等	△1,593,532	
(D)当 期 損 益 金 ( A + B + C )	25,281,317	
(E)前 期 繰 越 損 益 金	7,354,786	
(F)追 加 信 託 差 損 益 金	28,457,484	
( 配 当 等 相 当 額 )	(9,197,355)	
( 売 買 損 益 相 当 額 )	(19,260,129)	
(G)収 益 分 配 金	—	
償 還 差 益 金 ( D + E + F + G )	61,093,587	

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

\*損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注記事項)

・期首元本額	323,685,448円
・期中追加設定元本額	9,200,684円
・期中一部解約元本額	190,774,935円



## ■投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2020年10月29日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2024年3月27日		資産総額	207,451,218円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減または追加信託	負債総額	4,246,434円
受益権口数	42,487,984口	142,111,197口	99,623,213口	純資産総額	203,204,784円
元本額	42,487,984円	142,111,197円	99,623,213円	受益権口数	142,111,197口
				1万口当たり償還金	14,299.00円
毎計算期末の状況					
計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1万口当たり分配金	
				金額	分配率
第1期	414,221,792円	509,166,342円	12,292円	0円	0.0000%
第2期	434,467,397円	555,052,012円	12,775円	0円	0.0000%
第3期	323,685,448円	404,375,662円	12,493円	0円	0.0000%

## ■償還金のお知らせ

1万口(元本1万円)当たり 償還金	14,299円00銭
----------------------	------------

## 償還金の課税上の取り扱いについて

償還時の差益については、20.315%（所得税15%、復興特別所得税0.315%および地方税5%）の税率による申告分離課税が適用されます。なお、源泉徴収選択口座においては原則として確定申告は不要となります。

※法人の場合は上記と異なります。

※税法が改正された場合等には、上記の内容が変更になることがあります。

※課税上の取扱いの詳細につきましては、税務専門家等に確認されることをお勧めいたします。

## 国内短期債券マザーファンド 運用報告書

第4期（決算日 2024年3月22日）  
（計算期間：2023年3月23日～2024年3月22日）

「国内短期債券マザーファンド」の第4期の運用状況をご報告申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	信託期間は無期限です。
運用方針	わが国の短期公社債に投資を行なうことにより、安定した収益の確保を目指して運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の短期公社債を中心に投資します。
組入制限	①外貨建資産への投資は、行ないません。 ②デリバティブの使用は、ヘッジ目的に限定します。

**PayPayアセットマネジメント株式会社**

東京都千代田区神田錦町一丁目1番地  
<https://www.paypay-am.co.jp>

## ■設定以来の運用実績

決算期	基準価額		債券組入比率	純資産総額
		期中騰落率		
(設定日) 2020年8月13日	円 10,000	% -	% -	百万円 1,800
1期(2021年3月22日)	9,995	△0.1	98.0	12,101
2期(2022年3月22日)	9,984	△0.1	97.7	30,702
3期(2023年3月22日)	9,976	△0.1	98.4	47,273
4期(2024年3月22日)	9,953	△0.2	98.4	33,065

\*設定日の基準価額は当初設定時の価額です。また、設定日の純資産総額は、当初設定元本総額を記載しています。

\*当ファンドは、安定した収益の確保を図ることを目的としたファンドであり、該当するベンチマーク等はありません。

## ■当期中の基準価額等の推移

年月日	基準価額		債券組入比率
		騰落率	
(期首) 2023年3月22日	円 9,976	% -	% 98.4
3月末	9,975	△0.0	98.4
4月末	9,974	△0.0	98.4
5月末	9,972	△0.0	98.4
6月末	9,970	△0.1	98.3
7月末	9,969	△0.1	98.3
8月末	9,968	△0.1	97.6
9月末	9,966	△0.1	97.7
10月末	9,965	△0.1	97.8
11月末	9,964	△0.1	96.9
12月末	9,963	△0.1	98.3
2024年1月末	9,960	△0.2	98.4
2月末	9,958	△0.2	98.4
(期末) 2024年3月22日	9,953	△0.2	98.4

\*騰落率は期首比。

## ■当期の運用実績

### 〈基準価額の動き〉

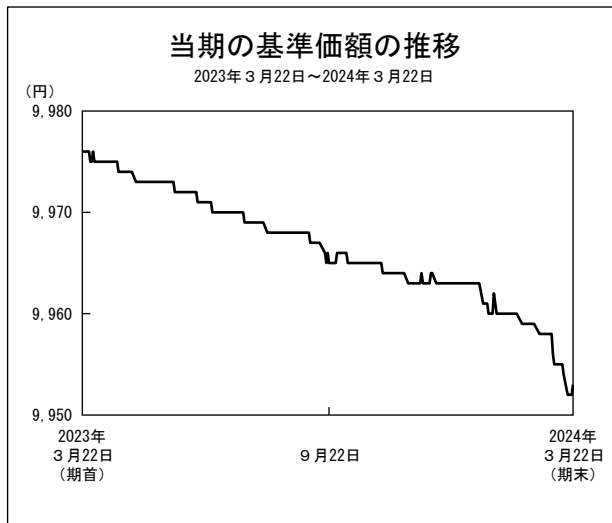
当期末の基準価額は、前期末比23円下落（-0.2%）の9,953円となりました。

### 〈基準価額の主な変動要因〉

国庫短期証券（3ヶ月）の利回りがマイナスで推移するなど利息収入等の運用収益を確保することが困難な状況が続き、基準価額は下落しました。

### 〈市況〉

日本銀行による「長短金利操作付き量的・質的金融緩和」の継続などを背景に無担保コール翌日物金利および国庫短期証券（3ヶ月）の利回りは概ねマイナスでの推移となりました。



## ■当期の運用経過

当ファンドは、わが国の短期公社債に投資を行なうことにより、安定した収益の確保を目指して運用を行なうことを基本としています。

当期は、主として短期の国債（国庫短期証券）に投資を行ないました。

## ■今後の運用方針

わが国の短期公社債に投資を行なうことにより、安定した収益の確保を目指して運用を行なっていく方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、宜しくお願い申し上げます。

※上記は作成日時点のものであり、今後予告なしに変更することがあります。また市場の変動等により方針通りの運用が行なわれない場合があります。

## ■ 1万口(元本10,000円)当たりの費用の明細

当期中に発生した費用はありません。

## ■ 売買及び取引の状況 (2023年3月23日から2024年3月22日まで)

### ● 公社債

	買付額	売付額
国内 国債証券	千円 70,135,541	千円 30,537,733 (53,525,000)

\*金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

\*単位未満は切捨て。

\* ( ) 内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

## ■ 主要な売買銘柄

### ● 公社債 (自2023年3月23日 至2024年3月22日)

当		期	
買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
第1164回国庫短期証券	12,904,527	第1164回国庫短期証券	9,706,161
第1195回国庫短期証券	12,212,354	第1108回国庫短期証券	5,900,448
第1169回国庫短期証券	7,152,538	第1115回国庫短期証券	4,100,282
第1145回国庫短期証券	6,005,237	第1155回国庫短期証券	2,800,288
第1211回国庫短期証券	5,420,979	第1140回国庫短期証券	1,650,083
第1154回国庫短期証券	5,112,188	第1139回国庫短期証券	1,579,654
第1183回国庫短期証券	4,070,276	第1144回国庫短期証券	1,500,157
第1170回国庫短期証券	3,990,962	第1074回国庫短期証券	1,180,072
第1157回国庫短期証券	3,172,983	第1145回国庫短期証券	1,000,473
第1143回国庫短期証券	2,901,887	第1143回国庫短期証券	600,046

\*金額は受渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

\*単位未満は切捨て。

## ■ 利害関係人との取引状況等 (自2023年3月23日 至2024年3月22日)

期中における利害関係人との取引はありません。

\*利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

■組入資産の明細 (2024年3月22日現在)

● 公社債

(A) 債券種類別開示

● 国内(邦貨建)公社債

区 分	当 期				末		
	額面金額	評 価 額	組入比率	内 B B 格 以下組入比率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国 債 証 券	32,534,000 (32,534,000)	32,526,072 (32,526,072)	98.4 (98.4)	— (—)	— (—)	— (—)	98.4 (98.4)
合 計	32,534,000 (32,534,000)	32,526,072 (32,526,072)	98.4 (98.4)	— (—)	— (—)	— (—)	98.4 (98.4)

\* ( ) 内は非上場債で内書きです。

\* 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

\* 額面金額、評価額の単位未満は切捨て。

\* 一印は組入れなし。

(B) 個別銘柄開示

● 国内(邦貨建)公社債

銘 柄 名	当 期			末	
	利 率	額面金額	評 価 額	償還年月日	
	%	千円	千円		
国債証券 第1157回国庫短期証券	—	3,170,000	3,170,050	2024/5/20	
第1164回国庫短期証券	—	3,190,000	3,190,073	2024/6/20	
第1170回国庫短期証券	—	3,987,000	3,986,477	2024/7/22	
第1183回国庫短期証券	—	4,067,000	4,065,800	2024/9/20	
第1195回国庫短期証券	—	12,200,000	12,194,778	2024/11/20	
第1207回国庫短期証券	—	500,000	499,732	2025/1/20	
第1211回国庫短期証券	—	5,420,000	5,419,159	2024/8/13	
合 計	—	32,534,000	32,526,072	—	

\* 単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成 (2024年3月22日現在)

項 目	当 期	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公 社 債	32,526,072	98.4
コ ー ル ・ ロ ー ン 等 、 そ の 他	539,721	1.6
投 資 信 託 財 産 総 額	33,065,793	100.0

\* 評価額の単位未満は切捨て。

## ■資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2024年3月22日)現在

項 目	当 期 末
	円
(A)資 産	33,065,793,341
コ ー ル ・ ロ ー ン 等	539,720,274
公 社 債 ( 評 価 額 )	32,526,072,328
未 収 利 息	739
(B)純 資 産 総 額 ( A )	33,065,793,341
元 本	33,222,918,325
次 期 繰 越 損 益 金	△157,124,984
(C)受 益 権 総 口 数	33,222,918,325口
1 万 口 当 た り 基 準 価 額 ( B / C )	9,953円

## ■損益の状況

(自2023年3月23日 至2024年3月22日)

項 目	当 期
	円
(A)配 当 等 収 益	△341,543
受 取 利 息	13,115
支 払 利 息	△354,658
(B)有 価 証 券 売 買 損 益	△86,547,021
売 買 損	△86,547,021
(C)当 期 損 益 金 ( A + B )	△86,888,564
(D)前 期 繰 越 損 益 金	△114,800,450
(E)追 加 信 託 差 損 益 金	△104,196,629
(F)解 約 差 損 益 金	148,760,659
(G)計 ( C + D + E + F )	△157,124,984
次 期 繰 越 損 益 金 ( G )	△157,124,984

\*損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

\*損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

\*損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〈注記事項〉

・期首元本額	47,388,563,772円
・期中追加設定元本額	29,878,306,629円
・期中一部解約元本額	44,043,952,076円

※期末における元本の内訳

円金利スワップオープン(適格機関投資家私募)	13,857,688,219円
安定運用移行型日経225インデックスオープン2023-02(適格機関投資家私募)	11,545,025,600円
安定運用移行型日経225インデックスオープン2021-10(適格機関投資家私募)	4,651,559,209円
米国株式・国債ローテーション戦略ファンド(適格機関投資家私募)	2,130,084,287円
米国5年国債3倍ベアファンド(適格機関投資家私募)	721,293,215円
安定運用移行型日経225インデックスオープン2022-06(適格機関投資家私募)	210,085,660円
米ドルブルファンドⅢ(適格機関投資家私募)	105,666,316円
安定運用移行型日経225インデックスオープン2023-12(適格機関投資家私募)	913,288円
円金利スワップオープン10年2倍(適格機関投資家私募)	602,531円